

TOTO

壁排水便器

BP

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の給表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	----------------------------------	--	---------------------------------------

注意	
	禁止 便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 設置工事は、この説明書に従って確実に 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

排水ソケットセットとしてご購入いただいた場合				
排水ソケット	固定金具類		化粧キャップ類	その他
	固定片 (1個)	木ねじ (固定片用) (φ5×50:2本)	ワッシャー (後固定用) (2枚)	施工説明書 (1部)
排水ソケット (1個) ※ゴムジョイント付き	皿木ねじ (前固定用) (φ5.8×56:1本)	木ねじ (排水ソケット用) (φ5×50:4本)	木ねじ (後固定用) (φ4.8×90:2本)	位置決めシート (1枚)

便器セットとしてご購入いただいた場合	
便器本体	化粧キャップ類
	化粧キャップ (前固定用) (1個) 化粧キャップ (後固定用) (2個)

掃除口ふた部品 (掃除口付きの場合)				
				施工説明書 (1部)
パッキン (1個)	ボルト一体型 止め金具 (1個)	ふた本体 (1個)	C形座金 (1枚)	

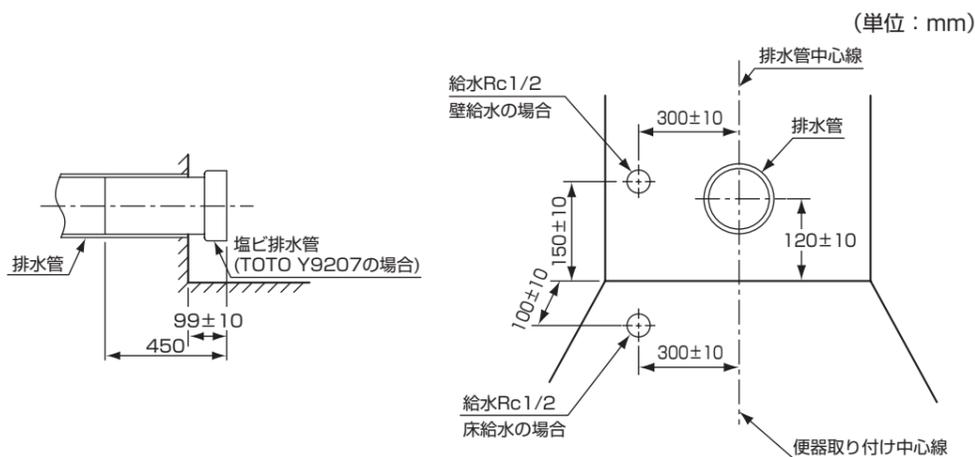
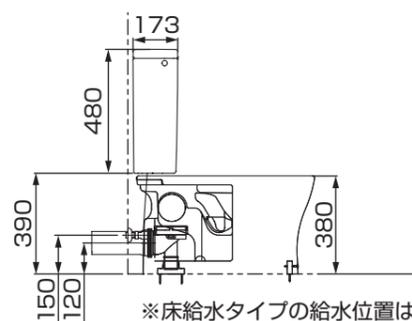
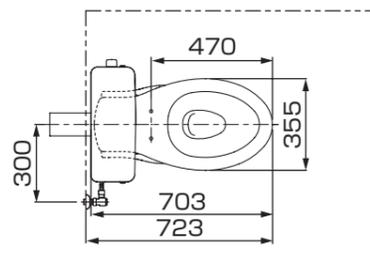
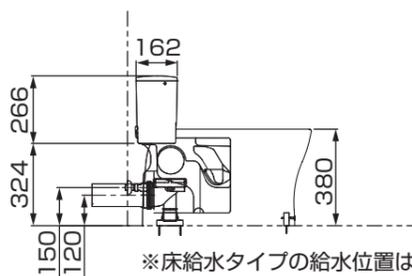
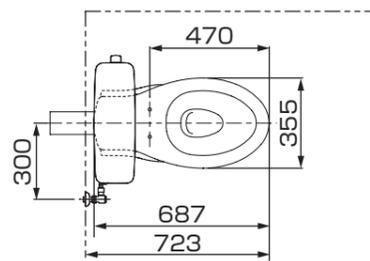
使用工具 (別途ご準備ください)

六角棒スパナ (呼び径4)
※掃除口取り付け用



取り付け前のご注意

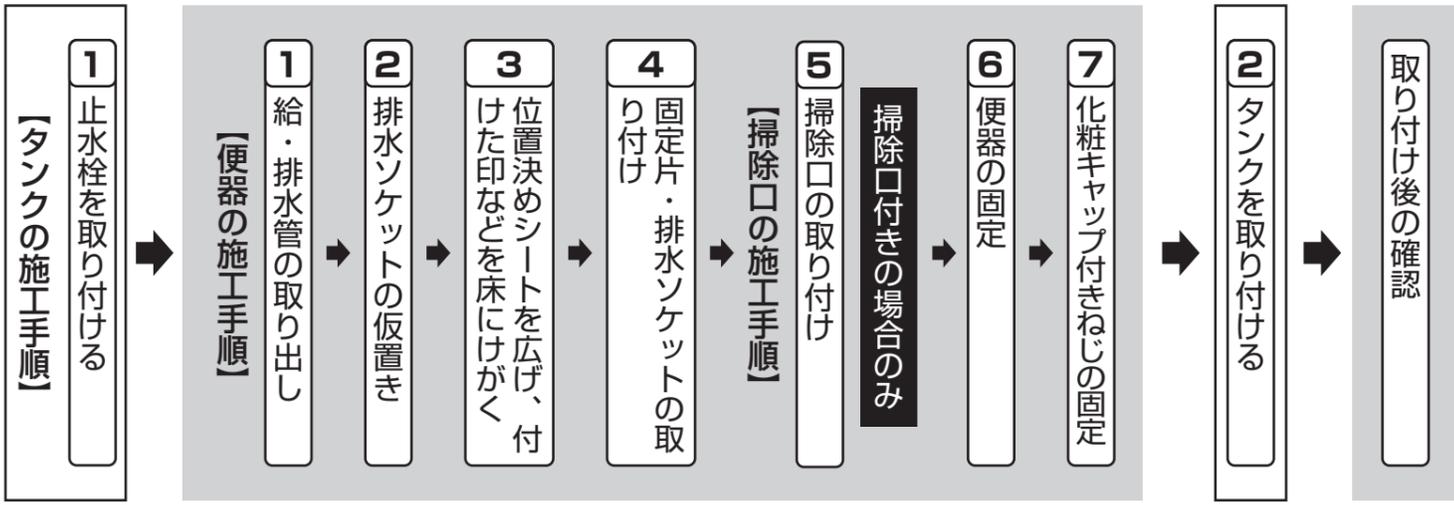
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 商品への通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時): 陶器タンク: 0.05MPa・フラッシュタンク: 0.07MPa、最高水圧(静止時): 0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 便器洗浄付のウォシュレット、またはリモコン便器洗浄ユニットを設置する場合は、必ず専用品を選定ください。専用品以外の場合、便器洗浄機能が正常に作動しません。
[専用品] 便器洗浄付ウォシュレット: TCF****EAK
リモコン便器洗浄ユニット: HE30系、HE35系、HE37系
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 掃除口付きの場合は、メンテナンスのために便器中心から横壁まで375mm(作業可能な最小寸法)以上の空間を設けてください。なお、TOTOが推奨する標準寸法は400mmとなります。



※排水ソケット高さの調節代は、110~130mmです。

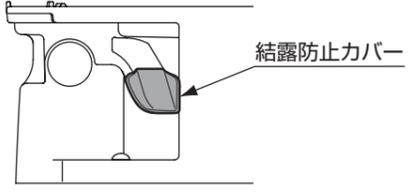
施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。( は本紙、 はタンクの施工説明書を参照ください)



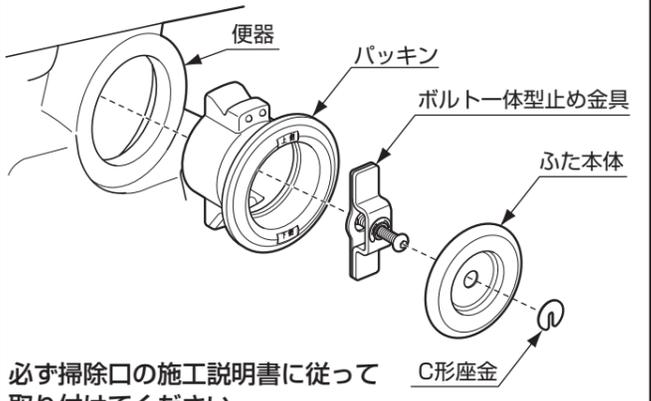
各部のなまえと施工のポイント

結露防止カバーは取り外さないでください！
再度取り付けることができません。
※取り外すと結露水で床をぬらすおそれがあります。



結露防止カバー

ポイント③
便器後ろの木ねじ固定を先に行うこと！
締め過ぎて便器を割らないこと！
最後の締め増しは手締めで行うこと！ (→⑥)



必ず掃除口の施工説明書に従って取り付けてください。

掃除口部 (図は掃除口部が右側にある場合)

注意

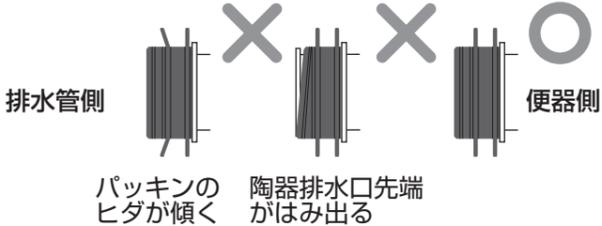
禁止 排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

ポイント④

- ① 火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- ② 溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- ③ 取り付けには必ず石けん水を使用してください。石けん水を使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- ④ 取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- ⑤ 取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番：TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充てんしてください。

排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。

【パッキン側面図】

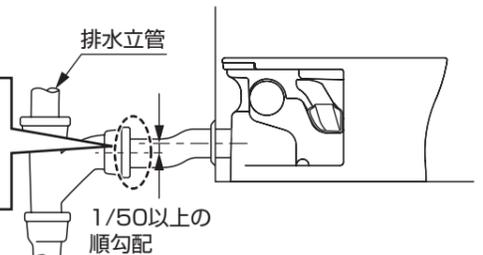


排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。
水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出していても品質的に問題はありません。



※タンク同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

排水管サドル・支持金具・バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施ください。固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないようにご注意ください。

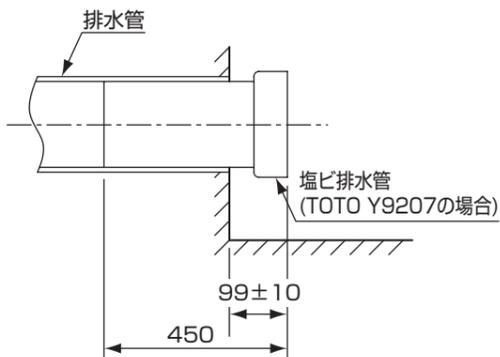


取付方法

1 給・排水管の取り出し

給・排水管を所定の位置に取り出す。

(単位：mm)

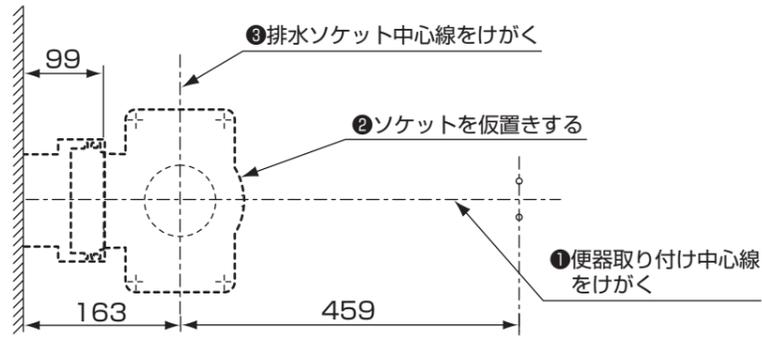


2 排水ソケットの仮置き

- ①便器取り付け中心線をけがく。
- ②下図を参照して排水の接続が所定の位置になるように排水ソケットを仮置きする。
※このとき、便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように注意してください。
- ③排水ソケット中心線をけがく。

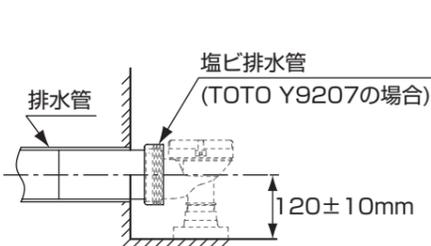
(排水管の出代99mmの場合)

(単位：mm)

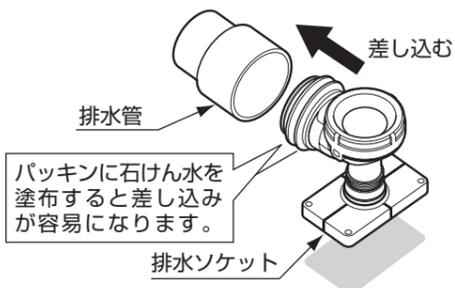


排水ソケットの仮置きの仕方

- ①排水管高さが、 120 ± 10 mmであることを確認する。



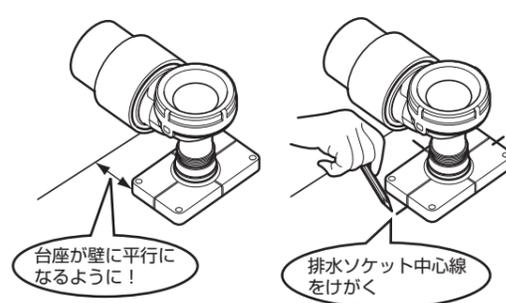
- ②台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



- ③台座部を床に当たるまで回転させる。

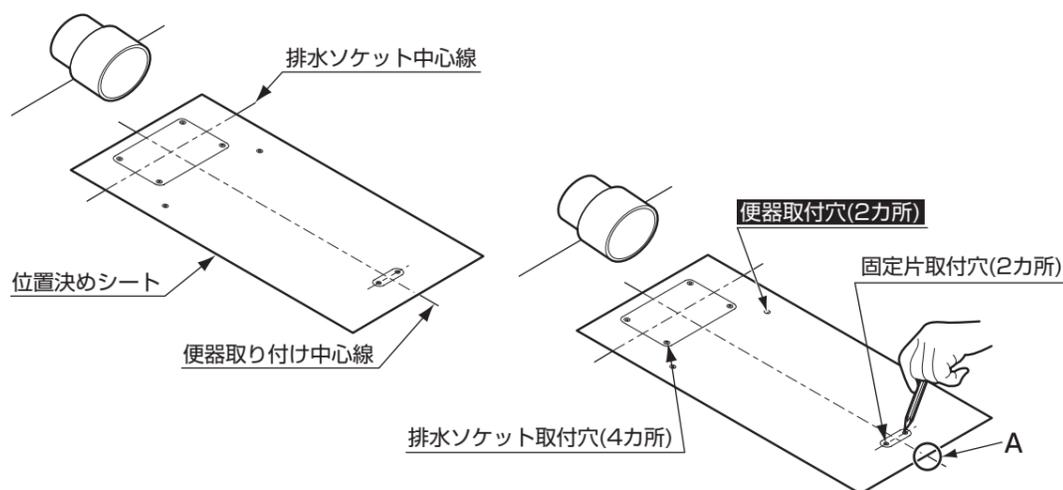


- ④台座が壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。



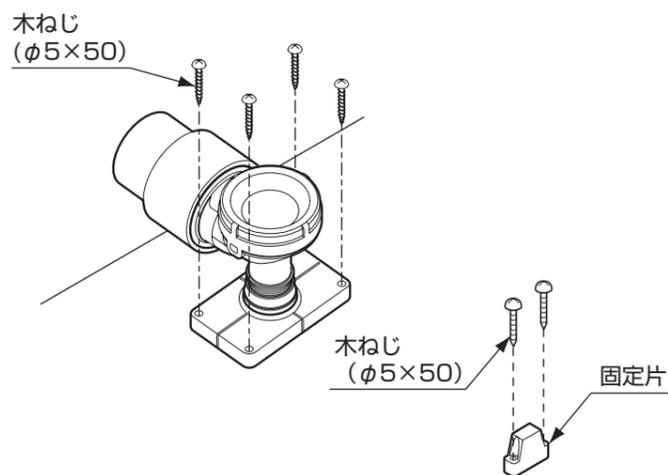
3 位置決めシートを広げ、付けた印などを床にけがく

- ①位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
- ②給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水範囲が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- ③固定片取付穴位置、排水ソケット取付穴位置および便器取付穴位置(8カ所)をけがく。
- ④鉛筆など(あとで消せるもの)で図A(便器取り付け中心線)に印をつける。
- ⑤けがいた取付穴位置に $\phi 3$ 程度の下穴をあける。
※ $\phi 3$ 程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



4 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①排水ソケットの取付穴に木ねじを入れ、4カ所を確実に締める。
- ②固定片を取り付ける。



5 掃除口の取り付け 掃除口付きの場合

掃除口の取り付けは掃除口同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

⚠ 注意



必ず実行

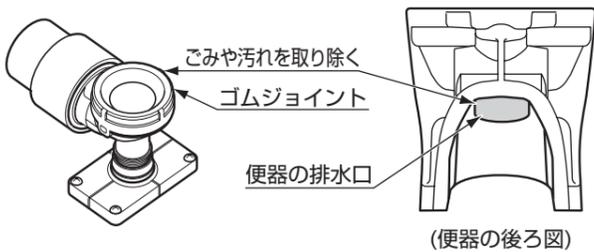
施工説明書に従って施工を行う

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

6 便器の固定

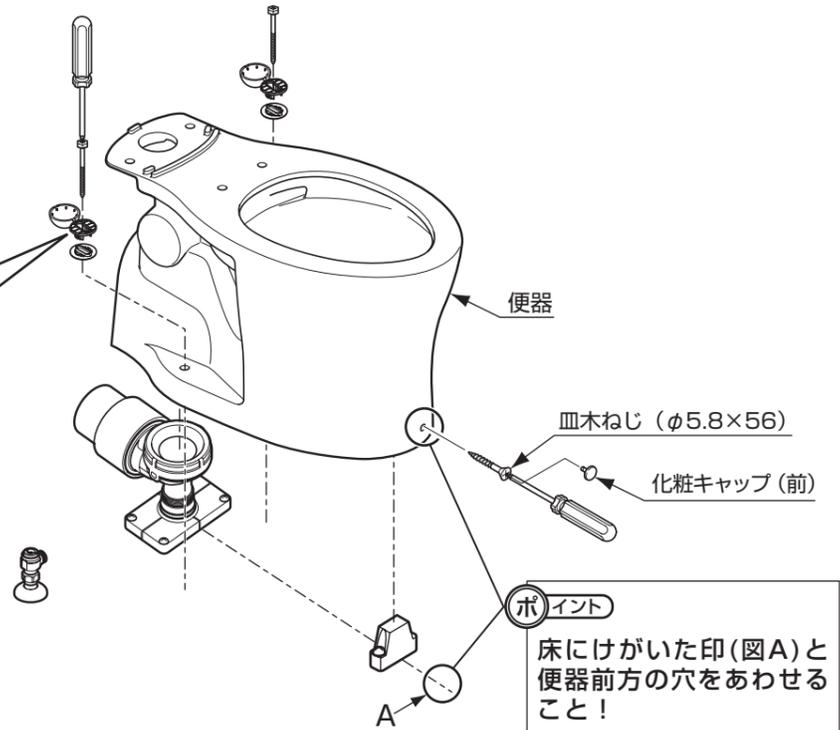
- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。



注意
最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

木ねじ (φ4.8×90)
化粧キャップ (後)
ワッシャー
※ワッシャーの向きを間違えないこと。



※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

- ② 便器後側の取付穴 (2カ所) を木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ (後) で固定する。

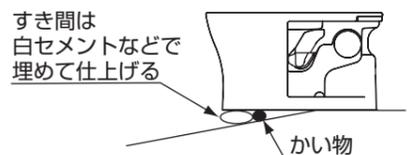
※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

- ③ 便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ (前) を差し込む。

※便器前側を固定する際は、床にけがいた印 (図A) と便器前方の穴をあわせてください。

※最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

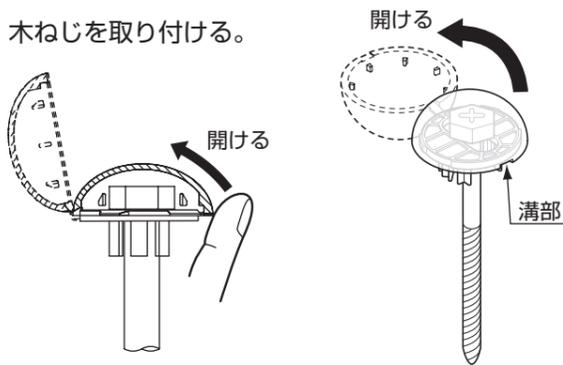
床面に不陸がある場合、大便器下面にかい物をして大便器を固定したあと、すき間を白セメントなどで埋めて仕上げてください。



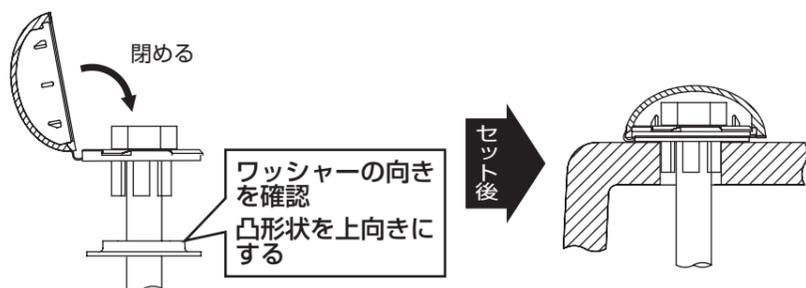
7 化粧キャップ付きねじの固定

<取り付けかた>

- ① 化粧キャップを開け、木ねじを取り付ける。



- ② 化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。

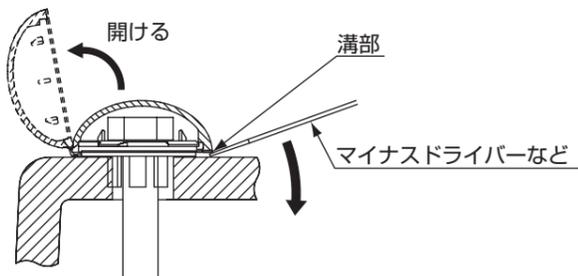


注意

注意
ワッシャーは正しい向きに取り付ける
反対向きに取り付けると陶器または部品が破損するおそれがあります。
必ず実行

<取り外しかた>

マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの溝部に差し込み、矢印の方向に押さえて開く。



タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

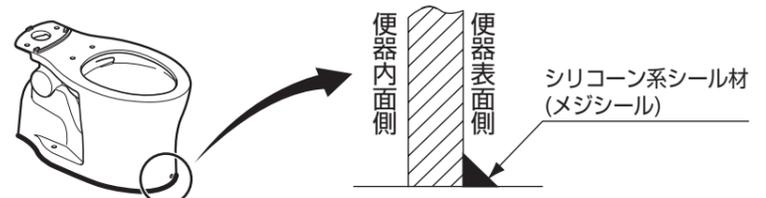
取り付け後の確認

- ・ 試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・ 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・ 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・ 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。